

## 第6学年道徳科指導案

特別支援教育専修4回生 板口咲希

1. 単元名 性別ってなんだろう？ B(11)相互理解、寛容
2. 単元について

### 【ねらいとする価値について】

本単元では、小学校学習指導要領解説特別な教科道徳編によると、B「主として人との関わりに関すること」の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」と関連が深い内容項目である。

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会を形作っている。自分とは違う意見や価値観を知り、認め合うことで広い心と深い人間関係を育むことが可能である。そのためには自己の至らなさや過ちと向き合い、成長途中であることを謙虚に受け止めること、相手に対しても寛容になることが求められる。お互いの違いを知り、理解し、自分と同じように他者を尊重し合えるような環境が、多様性を認め合うことにつながると考え、本単元を設定した。

### 【教材観】

近年、メディア（テレビやネット、SNS等）でLGBTを含むセクシュアルマイノリティという言葉をよく見かける。これはメディアの発達とともにセクシュアルマイノリティの認知度が高まったことが理由として挙げられる。児童らを取り巻く環境も変わりつつあり、今では気軽にインターネット等で様々な情報を手に入れることが可能になってきた。そんな社会の中で児童らが無意識に築いてきた性別への固定観念が、セクシュアルマイノリティ当事者への偏見や差別を招くことがある。「オカマ」や「ホモ」「レズ」といった差別用語を用いたり、これらを発端にいじめへと発展する例もある。これらの背景によって学校現場でも当事者の子どもたちはカミングアウトできなかつたり不適切な対応をされたりと、ありのままの自分で生きることが難しい。セクシュアルマイノリティである児童が不自由なく学校生活を送るためには、周囲の大人や子どもの理解が求められる。多様性を認め合い、支え合う環境づくりが必要である。

本単元では、そういった性別への固定観念を崩し、児童らが性別の多様性に気づくためのきっかけとして位置付ける。様々な性別の在り方を受け入れるためにはまずその存在を知り、決してどこか遠いテレビの向こうの世界だけの話ではないことを自覚することが必要である。何となく思い描いていたイメージと現実のギャップに気づき、その身近さからわがごととして捉えなおし、性別の多様性を認め合うことの第一歩と

して本単元を設定する。

### 【指導観】

本単元では、4つの性の考えを持つモデルケースをもとに、児童らに様々な性別の考え方があることを伝える。児童自身の中にある「男性らしさ」「女性らしさ」の価値観を引き出しながら、モデルケースと照らし合わせることで、その価値観を揺さぶりたい。その際性を考える4つのものさしを使用し、モデルケース以外にも多様な性のあり方があることを伝える。それらを通して、自分と異なる意見や立場を尊重すること、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重し、それに伴って価値観や行動を変革する機会としたい。

## 3. ESDとの関連

### ○ 学習を通して主に養いたいESDの視点

- ・ 多様性：社会には男性・女性だけでなく、多様な性別への考えがあることを理解する。
- ・ 公平性：どんな性別であったとしても、それが差別や偏見の理由にはならないという考えを育む。

### ○ 学習を通して主に育てたいESDの資質・能力

- ・ システムズシンキング：性別の考えを4つの枠で捉えなおし、その多様性を構造的に考える。
- ・ コミュニケーション能力：多様な性別への考えを聞き、それに対する自分の感想を書く。

### ○ ESDで育てたい価値観

- ・ 世代内の公正：現在生きるどんな性別の人も権利は平等である。
- ・ 人権と文化の尊重：性別に対する考えの違いを認め合う。

### ○ 貢献できるSDGs

- ・ ジェンダー(5)：性役割に縛られず、どんな性であっても自分らしく生きていくことを理解する。



	<div data-bbox="411 450 1054 562" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問「本当にAさん、Bさん、Cさん、Dさんはその性別なんですか」</p> </div>	<p>「男性も女性も恋愛対象ってどういうこと？」</p>	
	<p>2. 性別とはなにかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別の考え方として、4つの枠（こころの性、からだの性、好きになる性、表現する性）を知る。</li> <li>・4つの枠にAさん～Dさんを当てはめてみる。</li> <li>・Aさんのことをレズビアン、Bさんのことをゲイ、Cさんのことをバイセクシャル、Dさんのことをトランスジェンダーと言い表すことができることを知る。</li> <li>・こういったセクシュアルマイノリティの人が左利きの人と同じぐらいの割合であることを知る。</li> <li>・マツコ・デラックスならどこに当てはまるか考え、人によって捉え方が違うことを知る。</li> <li>・壇蜜を例に、性別への考え方は流動的で、今思っ</li> </ul>	<p>「服装は女性っぽい」 「けど声は男性っぽいよね」 「恋愛対象は男性だから…」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性・女性の二つが当たり前の</li> </ul>

	いることと、将来思っていることが違うかもしれないことを知る。		ではなく、こういった多様な性別の在り方の延長線上として女性が好きな男性、男性が好きな女性という在り方があるということを伝える。
	3. まとめ ・今日知ったこと、感じたことをノートに書く。		

5. 評価の観点

- 性別の多様性を理解し、自分なりの考えを持つことができたか。
- 児童のそれまでの固定観念を揺るような発問を的確に出すことができたか。